

平成22年産米の相対取引価格(出荷業者)(速報)
(平成23年2月)

(単位:円/玄米60kg)

産地	品種銘柄	地域区分	23年2月 ①	参考			
				23年1月 ②	対前月比 ①/②	22年2月 ③	対前年比 ①/③
北海道	ななつぼし		11,549	11,449	101%	13,959	83%
青森	つがるロマン		10,487	11,230	93%	13,623	77%
青森	まっしぐら		10,301	10,613	97%	13,397	77%
岩手	ひとめぼれ		12,070	12,006	101%	14,483	83%
岩手	あきたこまち		12,091	11,978	101%	14,266	85%
宮城	ひとめぼれ		11,911	12,096	98%	14,796	81%
宮城	ササニシキ		12,068	12,313	98%	-	-
秋田	あきたこまち		12,291	12,382	99%	14,646	84%
山形	はえぬき		11,709	11,836	99%	14,117	83%
福島	コシヒカリ	中通り	12,248	12,672	97%	14,145	87%
福島	コシヒカリ	会津	13,440	13,597	99%	15,102	89%
福島	コシヒカリ	浜通り	12,439	12,744	98%	-	-
福島	ひとめぼれ		10,982	11,489	96%	14,117	78%
茨城	コシヒカリ		12,923	13,096	99%	14,568	89%
栃木	コシヒカリ		12,773	12,730	100%	14,439	88%
千葉	コシヒカリ		13,218	12,909	102%	14,392	92%
長野	コシヒカリ		13,804	13,574	102%	15,052	92%
長野	あきたこまち		12,425	12,359	101%	-	-
新潟	コシヒカリ	一般	16,431	15,587	105%	16,223	101%
新潟	コシヒカリ	魚沼	21,824	21,769	100%	-	-

産地	品種銘柄	地域区分	23年2月 ①	参考			
				23年1月 ②	対前月比 ①/②	22年2月 ③	対前年比 ①/③
富山	コシヒカリ		13,755	13,788	100%	15,161	91%
石川	コシヒカリ		13,252	13,334	99%	-	-
福井	コシヒカリ		13,432	13,089	103%	14,936	90%
福井	ハナエチゼン		12,030	12,036	100%	-	-
岐阜	コシヒカリ		13,745	13,661	101%	-	-
滋賀	コシヒカリ		13,193	13,215	100%	14,330	92%
滋賀	キヌヒカリ		11,837	11,844	100%	13,832	86%
兵庫	コシヒカリ		13,646	13,756	99%	-	-
鳥取	コシヒカリ		13,010	12,959	100%	-	-
鳥取	ひとめぼれ		12,162	11,659	104%	-	-
島根	コシヒカリ		13,346	13,366	100%	-	-
岡山	アケボノ		11,239	-	-	-	-
広島	コシヒカリ		12,347	-	-	-	-
山口	コシヒカリ		12,879	12,824	100%	-	-
香川	ヒノヒカリ		11,403	11,453	100%	13,896	82%
福岡	ヒノヒカリ		11,896	12,177	98%	14,514	82%
佐賀	夢しずく		12,015	-	-	13,958	86%
熊本	コシヒカリ		12,929	-	-	-	-
大分	ヒノヒカリ		11,798	12,175	97%	14,085	84%
全銘柄平均価格			12,687	12,710	100%	14,602	87%

資料:農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注:1)相対取引価格は、ア 全国出荷団体、イ 年間の玄米仕入数量が5,000トン以上の道県出荷団体等、ウ 年間の直接販売数量が5,000トン以上の出荷業者と卸売業者等の主食用の相対取引契約(数量と価格が決定した時点を基準としている。)の価格(運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格。)であり、その契約数量を用いて加重平均した価格である。

その際、新潟、長野、静岡以東(東日本)の産地品種銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西(西日本)の産地品種銘柄については受渡地を西日本としているものを加重平均している。

2)また、相対取引価格は、個々の契約数量に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の引取状況に応じて等級及び付加価値等(栽培方法等)の価格調整が行われることがある。

3)産地品種銘柄は、21年産の公表対象産地品種銘柄または公表対象となっていなかった府県の21年産検査数量上位の1品種銘柄で、かつ、月1,000トン以上の取引があったものである。

4)全銘柄平均価格は、報告対象産地品種銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均した価格である。

5)22年2月は21年産の価格である。